

JICA主導、交番プロジェクト 全州設置目指し第二二期へ

当地の治安向上を目指す連邦政府の要請を受け、JICAが年度内をめどに第3期プロジェクト(3年間)を始める。これまで同地域活動普及プロジェクトが、新たな段階を迎えた。



JICA、警察関係者、交番の職員の皆さん

日系青年の夢を応援

奨学制度募集始まる

エンブー慈恩院

「青葉祭り」を15日

日本財團法人・海外系人協会(山田啓一)会長が「日本財團日系スカラーシップ・夢の実現プロジェクト」の募集を受け付けている。日系人に対する奨学金は、今年度で5人程度で、主に日本に在し、日本留学の機会を持つ若き日の計画や夢を持つ者、両国間の理解促進や、地域社会の発展に貢献するプロジェクト。募集締切りは7月31日。応募締切は7月31日。

中南米地域在住者が対象となる。応募資格・要件は次の通り。

▼日系人であること(国籍、学歴、訪日経験)は原則として18歳まで。▼海外日系の団体の推薦を得た者▼持つ者、両国で活躍する夢を持つ者▼留学経験を活かして、帰国後、居住国・地域社会で活躍する夢をもつ者▼留学生の往復航空運賃、受験料審査があり、合格発表は直接による2次選考は書類による1次選考。合格者は日本語へ翻訳したもののが採用される。

日本語学校の場合には、日本財團の指定による。日本語能力は、留学先での講義や日常生活に支障がないレベルが望ましい。

日本財團法人は、本人が選択し入学交渉を行うこと。

エンブー慈恩院が15日午後2時より、移民慰靈祭と宗祖弘法大師空海の生誕祝いを兼ねた「青葉祭り」を開催する。

和氣徹明さんが来社した。和氣さんは5年前に開いた。教使として2年間同寺に務めた経験があり、今回

は長田さんの招きで再び伯里した。「弘法大師の身代わりとしてお持ち頂きたい」と高野山からの

お守りを持参。般若心経

の教本も同氏がサンスクリット語から直接

日本語へ翻訳したものが

案内のため、同寺檀家

の長田真央さんと、

高野山真言宗開教使の

お守りを持参。般若心経

の教本も同氏がサンス

クリット語から直接

日本語へ翻訳したもののが

採用される。

詳しくはニッケイ新聞社 11-3340-6060 担当マリアまで

郵便でのご注文の方は、●太陽堂 ●フォノマギまで

ご注文・お問い合わせ先

詳しくはニッケイ新聞社 11-3340-6060 担当マariaまで

郵便でのご注文の方は、●太陽堂 ●フォノマギまで

